

北田原線

第2回 利用促進に向けた三者協議 ニュース

このニュースは、北田原線を今後も持続可能な路線とすることを目標に、「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で利用促進に向けて内容をお知らせするものです。

今回は、令和6年3月に北田原線の運行継続が決定したこと、今後も利用促進が必要であることを確認しました。その後、グループに分かれて、北田原線の利用促進のアイデアを話し合いました。

【開催概要】

日 時：令和6年6月6日(木) 19:00～20:30

場 所：南田原町集会所

参加者：14名(北田原町3名、南田原町7名、星和台4名)

【今回のプログラム】

1. 北田原線の運行継続について
2. なぜ今後も利用促進が必要？
3. 前回の振り返り
4. グループワーク
5. 次回について



当日の様子

参加者から人気のあったアイデア

グループワークで参加者が考えた利用促進アイデアについて、参加者全員で人気投票をしました。人気の高かったアイデアは、下のとおりです。



- ▶ 北田原城跡・高山城跡・磐船・星のブランコに、バスを使って観光してもらうための取組をする。
- ▶ 北田原線の沿線に目的地をつくる。例えば、役所の出張所機能。



【星のブランコ】
(大阪府民の森HPより)



- ▶ 部活の遠征や小中学校の遠足でバスを利用してもらう。
- ▶ 北田原線の特別券をつくる。
- ▶ 北田原線沿線の事業所へバス通勤をPRする。



- ▶ バスを使って遊びに来てもらえるように、SNS やテレビで発信する。
- ▶ 市役所や市内事業所も巻き込んで、ノーマイカーデーなどの取組をみんなで実施する。
- ▶ 65歳以上を対象としたシルバーチケットや、長距離利用割引(年齢制限なし)をつくる。
- ▶ 歩こう会での企画に、バスを組み込む。
- ▶ バスでめぐる「おいしいものめぐりツアー」やマップをつくる。
- ▶ 広報誌いこまの企画「バスでまちぶら」で、バスで行ける市内おすすめスポットが紹介されていたので、観光協会と連携して、実際にまちぶらできるバスツアーを組む。

バスでまちぶら



路線バスで行ける、市内のおすすめスポットを紹介し、ぜひ足を運んでください。
問い合わせ先 ☎0743-74-1111、内線2310

年末年始の観光に、住吉神社を

通称「おまつり屋」として親しまれる住吉神社は、1,200年以上の歴史があるといわれる神社です。住吉大社の三社と神功皇后が祀られています。ご参拝である程の木の樹齢は50年以上、樹高は3.4mもあり、市内で一番太い木と謳われています。12月下旬には、カンショつゆ舞楽納祭も開催予定。バス停から近く、静かな神社です。年末年始の観光にもおすすめです。
生駒市観光ボランティアガイドの会 小川 浩二 さん

おまつり屋



今回のプログラムの振り返り

1. 北田原線の運行継続について

北田原線の運行継続が決定したことを説明しました。これからも北田原線の運行を維持していくため、三者協議での話し合いを継続し、三位一体(利用者/地域・奈良交通・市)で利用促進に取り組む考えを説明しました。

2. なぜ今後も利用促進が必要？

市が今後財政支援することで、市内バス路線全体が収支均衡となるため、北田原線の運行継続が決まったものの、利用が減れば、再度路線の見直しが必要となるので、利用促進は今後も必要であることを説明しました。

現行の運行を続けるための条件について	
現行の運行を続けるための条件	
・北田原線の収支均衡	→あと1便あたり4.9人/便※の利用 ※R4年度実績値 目標人数17.6人/便(R4年度実績12.7人) (R4年度見込み時点の数値は、目標人数)
・もしくは市内全体での収支均衡	→市内全体で約3千万円の赤字
前回資料より	現状での運行期間 令和7年
【資料2】なぜ今後も利用促進が必要？	
なぜ今後も利用促進が必要？	
→バス路線の運行を継続していくため (協議の期限がなくなっただけで、利用が少なければ見直しが必要になることは今後も変わらない)	
今後も継続する取組みについて	
利用者(地域)、奈良交通、市が三位一体で利用促進に取り組む。	
主 体	内 容
利用者(地域)	三者協議を通して、地域が主体となった利用促進を実施など
奈良交通	市や利用者の取組みへの協調、CI-CA plusの利用促進など
市	バス運賃100円DAYの開催継続、市内交通マップの作成など
8月3日(土・どんとこまつり開催日)にバス運賃100円DAY開催決定！ 秋開催も計画中	
【資料3】なぜ今後も利用促進が必要？	

3. 前回の振り返り

前回の三者協議で話し合った内容の振り返りとして、「北田原線 第1回 利用促進に向けた三者協議 ニュース」を使い、三者協議に参加できない方の意見も地域で集めて話し合うことを説明しました。

4. グループワーク

3つのグループに分かれて、北田原線の利用促進のアイデアを話し合いました。

5. 次回について

今回のアイデアをもとに、次回は具体的な取り組み案を検討することを説明しました。

グループワークによる地区別のアイデア出しの結果(生駒市 HP でもご覧いただけます)



利用促進のアイデア・協力者の募集

今後利用促進の取組みを検討・実行していくためには、今回お集まりいただいた方々に加え、さらに地域が丸となって取組みを進める必要があります。利用促進のアイデアをお持ちの方、「こんなお手伝いならできる」という方は、ぜひ次回以降の三者協議にご参加ください。三者協議への参加が叶わない方は、協議に参加される地域の方、もしくは生駒市の下記連絡先までご意見やアイデアをぜひお知らせください。

連 絡 先: 生駒市 建設部 事業計画課
TEL 0743-74-1111 FAX 0743-73-3605

三者協議についての
生駒市 HP はこちら→

